

令和3年度当初予算: 1億円 / 令和2年度第3次補正予算: 305億円の内数

混雑を回避した移動や、パーソナルな移動など、with/afterコロナにおける新たなニーズにも対応したMaaSを推進するため、公共性の高い取組への支援の他、MaaSの実現に必要な基盤整備や、法改正で新設された計画認定・協議会制度の活用等について支援等を行う。



## 新たなニーズに対応した取組の推進

実証実験の成果や、新たなニーズ・課題への対応

- ✓ 混雑を分散させる取組  
⇒ 混雑情報提供システムの導入
- ✓ 接触を避ける取組  
⇒ キャッシュレス決済の導入 (タッチ決済、QRコード、顔認証等)
- ✓ パーソナルな移動環境の充実のための取組  
⇒ AIオンデマンド交通やシェアサイクル、電動キックボード等の導入

## MaaSの円滑な普及に向けた基盤づくり

MaaSの円滑な普及への基盤となる施策への支援

- ✓ 交通事業者におけるデータ化のためのシステム整備支援 (GTFS対応)
- ✓ 新モビリティサービス事業計画の策定支援 (計画策定のための調査や達成状況等の評価費用)